



大阪市立大空小学校

氏名

**OZORA
ELEMENTARY
SCHOOL**
GRAND DESIGN

**大阪市立大空小学校
学校グランドデザイン**

〈ハンドブック〉 2026年3月初版

大空小学校グランドデザイン

めざす子ども像

『4つの力』を発揮できる子

- 将来、想定外の事態に直面しても、乗り越えていける子
- 未来社会で、他者と協力し合って生き抜いていける子

安全・安心な地域の学校

- 学校と地域がともに学び、ともに協力し合いながら、「地域に生きる子ども」を育てる

大阪市教育局振興基本計画

大空小学校が存在する意義 ～実現しようとする～

すべての子どもの学習権を保障する

～みんながつくる みんなの学校～

めざす職場・組織像

教職員が健康で、明るく、元気な職場

- 「働き方改革」の推進
- 「チーム力」の発揮
- 子どもが主語となる話が行き交う職場

学校目標

国際社会に生きる
力を育てる

ともに生きる
力を育てる

学び続ける
力を育てる

教育方針

- すべての子どもを多方面から見つめ、全教職員で育てる
- ひとりぼっちにさせない

社会に出て、生きて働く『4つの力』の育成

人を大切にする力

多様な人との関わりから学ぶ機会をつくる

自分の考えを持つ力

「どう思った？」と問いかける習慣をつける

自分で表現する力

ありのままのその子らしさを受け止める

チャレンジする力

成功体験を積み重ねさせて自信を育てる

関係組織とのつながり

住吉区役所

学校協議会

はぐくみネット

フリースクール

各種支援団体・組織

地域みんながつくる
子どもたちの
セーフティネット

地 域
学 校
家 庭
子 ども

安全・安心な居場所

多様性の包摂

「たった一つの約束」

すべての子どもたちが、安心して学び、成長できる環境づくり

大空SEA【PTA】活動

- 大人たち全員が、「支える人」「教える人」であり、「ともに学び合う人」である
- 異なる背景や特性を持つすべての子どもたちを、地域全体で見守り、育む

ステートメント

パーパス+ミッション



すべての子どもの学習権を保障する

～みんながつくる みんなの学校～



私たち大空小学校は、「すべての子どもの学習権を保障する」ことを教育の根幹に据えています。この言葉には、どんな背景や特性を持つ子どもも、安心して学び、自分らしく成長できる学校でありたいという強い願いが込められています。

学習権とは、単に知識を得ることだけでなく、人とつながり、自分自身を認め、未来へ歩む力を育むための、かけがえのない権利です。その権利をすべての子どもに保障することが、私たちの責務であり、誇りでもあります。

大空小学校は、「みんながつくる みんなの学校」です。学校と地域がともに学び合い、協力し合いながら、「地域に生きる子ども」を育てています。子ども・サポーター（保護者）・地域・卒業生・教職員が「チーム大空」として、すべての子どもの学びと幸せを守り育てるために進化し続ける、「開かれた共生の学び舎」であり続けます。

それが、私たちが未来へ手渡す約束です。

解 説（学校教育目標）



国際社会に生きる力を育てる

世界は急速に変化し、多様な価値観が交わる時代です。子どもたちには、自分と異なる文化や考え方を理解し、他者を尊重しながら未来を築く力を身につけてほしいと願っています。そうした力は、日常の中で互いの違いを認め合う経験から育まれます。障がいのある子、外国にルーツを持つ子、不登校の経験を持つ子も、教室の一員として自然に関わり合う——そこにこそ、「国際社会に生きる力」の原点があります。この力は、英語やICTのスキルよりも前に、人と向き合い、相手を理解しようとする姿勢として育っていくのです。

ともに生きる力を育てる

この目標は、まさに学習権の本質です。学びは、ひとりでは深まりません。子ども同士、そして子どもと大人がつながり合う中で、「安心して自分を出せる関係性」が生まれ、そこから本当の学びが始まります。私たちは、「友だちを大切にすること」や「笑顔あふれる関係づくり」を大切にしています。その想いを学校全体に広げ、互いを思いやる風土や、誰もが受け入れられる文化を育てていきます。この「ともに生きる力」は、子どもたちだけでなく、私たち教職員にも求められる大切な力です。教職員が互いを尊重し、学び合う姿こそが、子どもたちにとって最良の学びとなるのです。



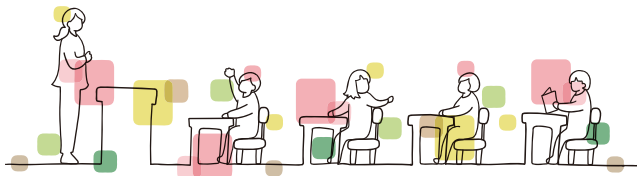
ステートメント

解説（学校教育目標）



学び続ける力を育てる

学びは、終わりのない旅です。子どもも大人も、うまくいったこと、うまくいかなかったことを振り返る中で、次の一步を見つけていきます。挑戦し、たとえ失敗しても、そこから学ぼうとする姿勢を大人が示すことは、子どもたちの勇気につながります。そうした姿勢を育てていくためにも、教職員が健康で明るくいられることは欠かせません。一人ひとりが無理をせず、安心して助けを求められる職場であることが、子どもたちの「学び続ける力」を支えると考えています。私たちは、そんな環境をつくっていきます。



これら三つの学校目標は、単なるスローガンではありません。「学習権を保障する」という理念を、日々の授業、子どもとの関わり、教職員間の協働、地域とのつながり——そのすべてに落とし込むための、具体的な行動の道しるべです。

私たちは、理念を語るだけでなく、実践の中で問い直し、「うまくいかなかった一割の子」に心を向け続けます。その積み重ねが、子どもの未来を支え、学校の信頼を築いていくのです。

解説（4つの力）



社会に出て、生きて働く『4つの力』

大空小学校が大切にしている『4つの力』の育成は、子どもたちが予測困難な未来を生き抜くための「見えない学力」の核となるものです。

①人を大切にする力

多様性を尊重し、他者も自分も大切にすることを育む力です。

②自分の考えを持つ力

他人の意見に流されず、自らの視点で物事を捉える力です。

③自分を表現する力

自分の思いや考えを自分の言葉で語る力です。

④チャレンジする力

失敗する力であり、失敗を恐れず挑戦し、やり直すことで成長する力です。

『4つの力』は、①⇒②⇒③⇒④の順に積み重なっていく「発達の道筋」と位置付けています。「人を大切にする」ことを土台に、考え、表現し、挑戦へと進んでいく——こうした力は、子どもが安心して過ごせる環境の中でこそ育まれ、結果として「見える学力」にも良い影響をもたらします。そして、その育成こそが学習権の保障によって開かれる、“子どもたちの未来への道”となるのです。

フォローアップ

子ども・保護者・地域・教職員のつながりは、「みんながつくる みんなの学校」という大空の伝統であり、守り続けるべき大切な価値です。これから人も人を大切に、つながりを育み、互いの可能性がひろく学校であり続けます。そして、学習権の保障の先にある子どもたちの未来こそ、私たちがともにつくりたい「大空の姿」です。

Point

- 日常的に実行できること
- できているかどうかが周囲から見てわかること
- 具体的な行動であること